平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月28日

上場会社名　株式会社 ネットプライスドットコム　　上場取引所　東
コード番号　3328　URL　http://www.netprice.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長兼グループCEO　(氏名) 佐藤　輝英
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼グループCFO　(氏名) 中村　浩二　TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	2,748	△0.2	39	―	23	―	△11	―
24年9月期第1四半期	2,754	△12.4	△62	―	△3	―	△39	―

(注) 包括利益　25年9月期第1四半期　69百万円　(―%)　24年9月期第1四半期　△40百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	△106.66	―
24年9月期第1四半期	△357.30	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第1四半期	6,283	3,896	60.8	34,209.62
24年9月期	6,024	3,857	62.4	33,754.05

(参考) 自己資本　25年9月期第1四半期　3,817百万円　24年9月期　3,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年9月期	―				
25年9月期(予想)		―	―	―	―

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
(注) 25年9月期の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,248～5,448	△1.1～2.6	9～49	―	△12～33	―	△76～△41	―	△681.19～△367.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

通期の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化が早く、また当社が展開する事業が多岐にわたっているため、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは、極めて困難であると考えております。
そのため、当期より、四半期ごとに行っている業績発表に併せて翌四半期の業績見通しを公表いたします。
なお、実際の業績が、公表された業績予想の範囲に対し大きく異なる可能性がありますが、その場合には、速やかに業績予想の修正を公表することといたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 無
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 無
④ 修正再表示	： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期1Q	113,066 株	24年9月期	113,066 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	1,466 株	24年9月期	1,742 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期1Q	111,540 株	24年9月期1Q	111,066 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、Ｅコマース事業においては、①ギャザリング部門の事業転換後の再成長②バリューサイクル部門の買取・販売バランスのコントロール③クロスボーダー部門の対象地域の拡大と集客強化、インキュベーション事業においては、新規事業の立ち上げに注力してまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は2,748,682千円（前年同期比0.2%減）、営業利益は39,362千円（前年同期は営業損失62,288千円）となりましたが、為替の円安修正による為替差損の発生や持分法投資損失の発生により、経常利益は23,195千円（前年同期は経常損失3,267千円）、四半期純損失に関しましては連結納税対象外子会社による法人税等の計上により11,896千円（前年同期は四半期純損失39,684千円）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①Ｅコマース事業

ギャザリング部門におきましては、前期から注力してきたお客様への価値創造（価値提案）と絆づくりを基盤として、価値訴求と価格訴求のバランスを図ることにより、併売個数やリピート率を向上させてまいりました。特にお客様の声を取り入れたオリジナル商品の開発や、定期購入等の顧客定着を図る販売手法の導入、新規提携先の増加による集客力の強化、スマートフォンによる購買施策などを積極的に進めてまいりました。また、前期に実施した販管費の削減効果もあり、当第１四半期連結累計期間においては黒字化いたしました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は1,340,782千円（前年同期比22.8%減）、営業利益は22,294千円（前年同期は営業損失75,543千円）となりました。

バリューサイクル部門におきましては、これまで実施してきたブランディングの強化とアライアンスの拡大により、買取・販売件数ともに順調に増加しております。また、前上半期に発生した買取需要の大幅な増加に伴う買取・販売バランスのコントロールの課題については、人員配置の最適化やマーケティング戦略の見直しにより改善を進めてまいりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は1,089,463千円（前年同期比42.0%増）、営業利益は61,352千円（前年同期は営業損失22,324千円）となりました。

クロスボーダー部門におきましては、円高水準に落ち着きがみられたものの、SEO対応の改善等、集客基盤の強化により取扱額並びに会員数は順調に拡大しております。さらに、第２四半期中には、アメリカ、英国に続いて、ドイツの商品の取り扱いを開始する予定であり、人員の増強、多通貨対応のオペレーションの構築等を行ってまいりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は196,408千円（前年同期比0.4%増）、営業利益32,122千円（前年同期比51.7%減）となりました。

Ｅコマース事業全体では、当第１四半期連結累計期間における売上高は2,626,654千円（前年同期比2.7%減）、営業利益は115,769千円（前年同期は営業損失31,401千円）となりました。

②インキュベーション事業

インキュベーション事業におきましては、海外向けの商品転送サービス「tenso.com」は、前期に引き続き新規会員数、利用件数が順調に増加しており、売上、利益ともに成長しております。また、既存の商品転送サービスに加え、海外向け代理購入サービス等の新たなサービスの開発にも注力してまいりました。一方で、コンテンツの企画・制作・販売等を行うフォーリー株式会社を新設するなど、スマートフォンサービスの企画・開発の強化も進めております。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は127,219千円（前年同期比132.6%増）、営業損失は10,655千円（前年同期は営業損失619千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は6,283,098千円となり、前期末と比べ258,773千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が4,711,154千円となり、前期末と比べ153,256千円の増加となりました。主な増加要因としては、現金及び預金81,121千円、受取手形及び売掛金177,354千円及び商品31,839千円の増加であり、主な減少要因としては、その他に含まれている未収入金156,980千円の減少であります。また、固定資産合計は1,571,944千円となり、前期末と比べ105,516千円の増加となりました。主な増加要因としては、無形固定資産その他に含まれているソフトウェア60,628千円、のれん20,192千円及び投資有価証券56,245千円の増加であり、主な減少要因としては、関係会社株式40,758千円の減少であります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は2,387,074千円となり、前期末と比べ220,531千円の増加となりました。主な増加要因としては、支払手形及び買掛金166,154千円、短期借入金131,824千円及びその他に含まれている未払金75,015千円の増加であり、主な減少要因としては、その他に含まれている預り金145,865千円の減少であります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は3,896,024千円となり、前期末と比べ38,242千円の増加となりました。主な増加要因としては、為替換算調整勘定54,951千円、主な減少要因としては、少数株主持分19,186千円の減少であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化が早く、また当社が展開する事業が多岐にわたっているため、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは、極めて困難であると考えております。そのため、当期より、四半期ごとに行っている業績発表に併せて翌四半期の業績見通しを公表いたします。なお、実際の業績が、公表された業績予想の範囲に対し大きく異なる可能性がありますが、その場合には、速やかに業績予想の修正を公表することといたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年９月30日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,060,763	3,141,884
受取手形及び売掛金	545,558	722,913
有価証券	5,849	15,191
商品	380,082	411,922
繰延税金資産	8,579	6,027
その他	558,496	414,326
貸倒引当金	△1,432	△1,111
流動資産合計	4,557,897	4,711,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	208,790	211,928
減価償却累計額	△108,241	△118,073
建物及び構築物（純額）	100,549	93,855
工具、器具及び備品	266,804	278,533
減価償却累計額	△232,417	△238,767
工具、器具及び備品（純額）	34,386	39,766
有形固定資産合計	134,935	133,621
無形固定資産		
のれん	203,268	223,461
その他	98,868	159,496
無形固定資産合計	302,136	382,957
投資その他の資産		
投資有価証券	591,257	647,503
関係会社株式	60,298	19,540
繰延税金資産	16,399	21,981
その他	361,399	366,339
投資その他の資産合計	1,029,355	1,055,364
固定資産合計	1,466,427	1,571,944
資産合計	6,024,325	6,283,098

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年９月30日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,801	567,956
短期借入金	680,440	812,264
1年内返済予定の長期借入金	76,800	76,800
未払法人税等	23,386	47,623
ポイント引当金	11,863	18,533
その他	732,357	640,672
流動負債合計	1,926,649	2,163,850
固定負債		
長期借入金	150,000	130,000
繰延税金負債	10,768	12,696
資産除去債務	75,695	77,662
その他	3,429	2,865
固定負債合計	239,893	223,224
負債合計	2,166,543	2,387,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,417	2,331,417
資本剰余金	2,134,596	2,122,353
利益剰余金	△464,541	△478,737
自己株式	△222,637	△208,954
株主資本合計	3,778,835	3,766,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,463	3,227
為替換算調整勘定	△6,464	48,486
その他の包括利益累計額合計	△20,928	51,714
新株予約権	37,559	35,102
少数株主持分	62,315	43,128
純資産合計	3,857,782	3,896,024
負債純資産合計	6,024,325	6,283,098

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成23年10月１日 至 平成23年12月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成24年10月１日 至 平成24年12月31日)
売上高	2,754,145	2,748,682
売上原価	1,591,435	1,465,600
売上総利益	1,162,710	1,283,082
販売費及び一般管理費	1,224,999	1,243,720
営業利益又は営業損失（△）	△62,288	39,362
営業外収益		
受取利息	164	143
投資有価証券売却益	68,010	3,002
投資事業組合運用益	―	14,935
その他	5,925	3,661
営業外収益合計	74,099	21,742
営業外費用		
支払利息	3,679	3,009
為替差損	3,350	14,187
持分法による投資損失	3,921	18,960
その他	4,126	1,750
営業外費用合計	15,078	37,909
経常利益又は経常損失（△）	△3,267	23,195
特別利益		
関係会社株式売却益	―	8,276
新株予約権戻入益	―	3,487
特別利益合計	―	11,764
特別損失		
固定資産売却損	2,778	―
特別損失合計	2,778	―
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△6,046	34,959
法人税、住民税及び事業税	23,922	41,657
法人税等調整額	2,374	△2,218
法人税等合計	26,297	39,438
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△32,343	△4,479
少数株主利益	7,340	7,417
四半期純損失（△）	△39,684	△11,896

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△32,343	△4,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,356	17,690
為替換算調整勘定	△6,279	54,988
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	840
その他の包括利益合計	△7,667	73,520
四半期包括利益	△40,011	69,040
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,241	61,586
少数株主に係る四半期包括利益	7,230	7,454

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成23年10月１日 至 平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	Eコマース事業				インキュベーション事業	合計		
	ギャザリング部門	バリューサイクル部門	クロスボーダー部門	小計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,736,721	767,180	195,543	2,699,446	54,699	2,754,145	―	2,754,145
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―	―
計	1,736,721	767,180	195,543	2,699,446	54,699	2,754,145	―	2,754,145
セグメント利益又は損失（△）	△75,543	△22,324	66,467	△31,401	△619	△32,020	△30,268	△62,288

（注）１．セグメント利益の調整額△30,268千円には、セグメント間取引の消去△375千円、未実現利益の消去２千円、各報告セグメントに配分していない全社収益150,068千円及び全社費用△179,964千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	Eコマース事業			小計	インキュベーション事業	合計		
	ギャザリング部門	バリューサイクル部門	クロスボーダー部門					
売上高								
外部顧客への売上高	1,338,362	1,089,463	196,408	2,624,234	124,448	2,748,682	―	2,748,682
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,419	―	―	2,419	2,771	5,190	△5,190	―
計	1,340,782	1,089,463	196,408	2,626,654	127,219	2,753,873	△5,190	2,748,682
セグメント利益又は損失（△）	22,294	61,352	32,122	115,769	△10,655	105,114	△65,751	39,362

（注）１．セグメント利益の調整額△65,751千円には、セグメント間取引の消去1,693千円、各報告セグメントに配分していない全社収益61,230千円及び全社費用△128,675千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。